

急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。） -2014年-

千葉県では2009年43例、2010年31例、2011年25例、2012年48例、2013年32例、2014年55例の届出があり、2014年は2009年以降で届出数が最も多かった（図1、表1）。そこで、2014年に届出された55例の発生状況をまとめた。

図1. 2009年～2014年千葉県の急性脳炎年別届出数

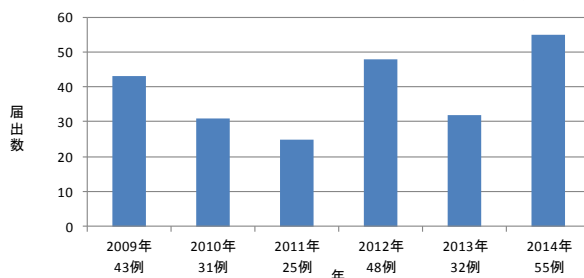


表1. 2009年～2014年千葉県の急性脳炎年別・性別・年齢群別届出数

	2009年			2010年			2011年			2012年			2013年			2014年			2009年～2014年総計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
5歳未満	7	13	20	16	4	20	3	9	12	15	17	32	10	9	19	19	11	30	70	63	133
5～9歳	5	7	12	1	4	5	4	5	9	6	3	9	5	5	10	5	3	8	26	27	53
10代	4	3	7	1	1	2	2	2	2	5	2	7	2		2	8		8	22	5	27
20代		1	1	1	1	2	1		1						1		1	3	2		5
30代	1	1	2	1		1							1	1	2	1	3	5	2		7
40代	1		1					1	1									1	1		2
50代				1	1	2											1	1	1	2	3
60代																1	1		1	1	1
70代														1	2	3		1	2		3
総計	18	25	43	21	10	31	10	15	25	26	22	48	18	14	32	36	19	55	129	105	234

性別は55例中男性36例（65.5%）、女性19例（34.5%）と男性が多かった（表1、図2）。

年齢群別では5歳未満30例が最も多く、次いで5～9歳8例、10代8例が多かった（表1、図3）。

類型別は患者54例、感染症死亡者の死体1例だった。

図2. 2009年～2014年千葉県の急性脳炎年別・性別届出割合

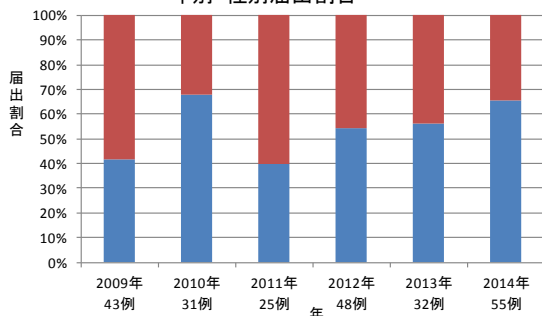
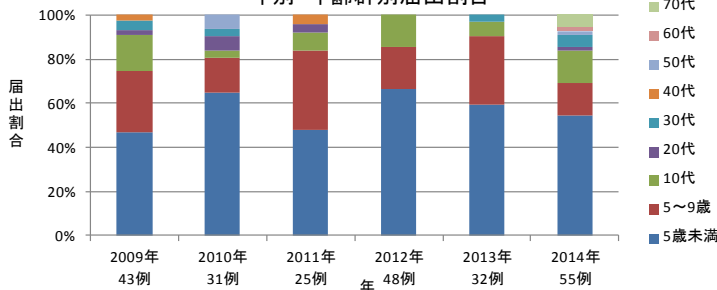


図3. 2009年～2014年千葉県の急性脳炎年別・年齢群別届出割合

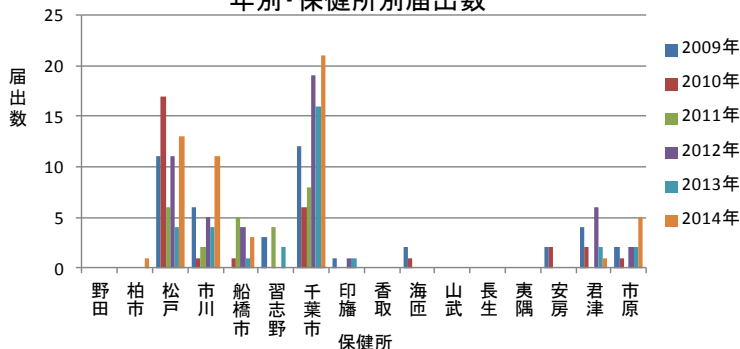


保健所別では千葉市21例、松戸13例、市川11例、市原5例、船橋市3例、柏市1例、君津1例だった（表2、図4）。

表2. 2009年～2014年千葉県の急性脳炎年別保健所別届出数

保健所名	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	総計
野田	0	0	0	0	0	0	0
柏市	0	0	0	0	0	1	1
松戸	11	17	6	11	4	13	78
市川	6	1	2	5	4	11	29
船橋市	0	1	5	4	1	3	14
習志野	3	0	4	0	2	0	9
千葉市	12	6	8	19	16	21	92
印旛	1	0	0	1	1	0	3
香取	0	0	0	0	0	0	0
海匝	2	1	0	0	0	0	7
山武	0	0	0	0	0	0	0
長生	0	0	0	0	0	0	0
夷隅	0	0	0	0	0	0	0
安房	2	2	0	0	0	0	8
君津	4	2	0	6	2	1	19
市原	2	1	0	2	2	5	13
合計	43	31	25	48	32	55	234

図4. 2009年～2014年千葉県の急性脳炎年別・保健所別届出数



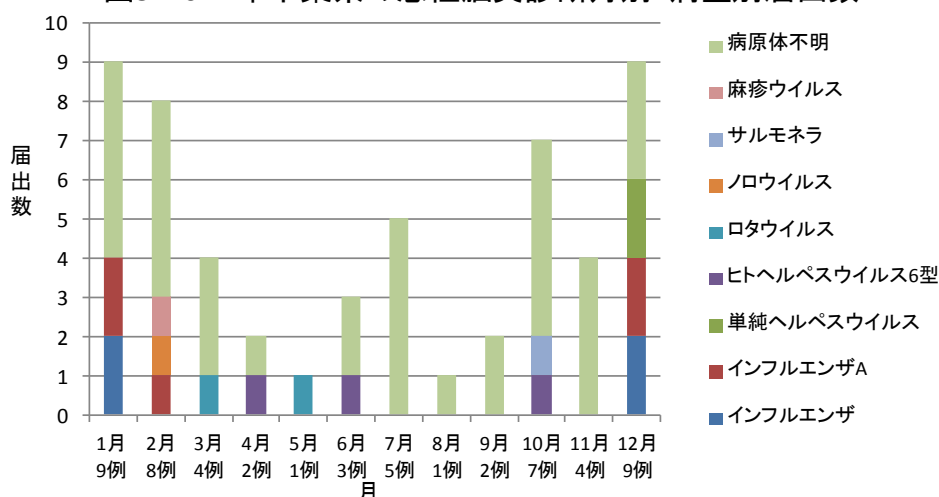
診断月別では1月～3月、6月～7月、10月～12月に届出数が多かった (表3、図5)。

病型として記載のあった病原体を表3、図5に示す。36例(65.5%)が病原体不明で、9例(16.4%)はインフルエンザウイルスだった。

表3. 2014年千葉県の急性脳炎診断月別・病型別届出数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
インフルエンザウイルス		2										2	4
インフルエンザウイルスA		2	1									2	5
単純ヘルペスウイルス												2	2
ヒトヘルペスウイルス6型					1		1				1		3
ロタウイルス				1			1						2
ノロウイルス			1										1
サルモネラ											1		1
麻疹ウイルス			1										1
病原体不明	5	5	3	1			2	5	1	2	5	4	36
総計	9	8	4	2	1	3	5	1	2	7	4	9	55

図5. 2014年千葉県の急性脳炎診断月別・病型別届出数



症状等として記載があったのは発熱 50 例 (90.9%)、意識障害 50 例 (90.9%)、痙攣 38 例 (69.1%)、髄液細胞数の増加 13 例 (23.6%)、嘔吐 10 例 (18.2%)、頭痛 8 例 (14.5%)、項部硬直 8 例 (14.5%) だった (複数報告あり)。

全国と比較すると、2014年全国 459 例のうち、千葉県は 55 例 (12.0%)と最も届出数が多かった (図6) (2015年1月6日現在)。

図6. 2012年～2014年全国の急性脳炎年別・都道府県別届出数

